☺「福岡市　子どもと本の日」通信　Ｎｏ．258　　令和８年９月23日



読書週間　10月27日～11月９日

2026年　読書週間　標語

「静かだけど、冒険中。」

＜作者　船倉 菜々子さんのことば＞

「　ページをめくる時、傍目には静かに見えても、心はふっと遠くへ旅に出ていろんな体験や感情に出会っています。
　そんな静かな没入感と、想像力による内面の動きが同居しているおもしろさを、ことばにしてみました。」

今年で80回目を迎える「読書週間」は、毎年「10月27日　読書の日」を初日として、11月９日までの「文化の日」を中心とした２週間となっています。

「読書週間」は、1947年に、日本ではじまりました。終戦から２年後、戦火の傷跡が各地に残っていた当時の日本を「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意をもとに、開催されました。それから 80 年を経て「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」となりました。

しかしながら、近年、子ども達の「読書離れ」が心配されています。４月２３日から５月１２日の「こども読書週間」や「23日は子どもと本の日」と共に、今年の「読書週間」も、多くの子ども達の読書への関心を高めるために、読書習慣の定着の機会となる催しや働きかけを学校、家庭や地域においても行って欲しいものです。

また、各学校におかれましては、来月からの読書週間に向けて、図書委員会等の子ども達と共に、計画や準備をお願いします。

※　小学校や中学校においては、読書週間の取り組みの一つとして、読書リーダー養成講座を開催してみては、いかがでしょうか。



読書に関する名言・格言



過去の偉人たちは、たくさんの読書に関する名言や格言を残しています。その偉人たちが残した名言や格言を知ると、さらに、読書の意義や価値、読書への意欲が高めることができたり、自分の読書観を再認識したりする言葉に出合うことができます。
時間のある時に、自分の好きな言葉を探してみてはいかがでしょうか。

＜フランシスコ・ベーコン：哲学者＞
読書は、論争のためではなく、そのまま信じ込むためでもなく、講演の話題探しでもない。それは、熟考のためのものなのだ。

＜デカルト：哲学者・数学者＞
良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである。

＜チェーホフ：劇作家＞
書物の新しいページを１ページ、１ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく。

＜長田　弘：詩人＞
本を読むことが、読書なのではありません。自分の心の中に失いたくない言葉のたくわえ場所をつくり出すのが、読書です。

＜オルダス・ハクスリー：著作家＞
読書の方法を知っている人はすべて、自分自身を拡大し、存在できる道を増やし、人生を有意義で、面白く、最大限に活かす力を持っている。

＜エマーソン：哲学者＞
もっとも高度な文明においても、読書はやはり最大の喜びである。一度その満足を知った者は、不幸の中でもその満足を得る。

＜マイケル・ジャクソン：歌手＞
僕は読書が大好きだ。もっと多くの人に 本を読むようアドバイスしたい。本の中には、まったく新しい世界が広がっているのだよ。旅行に行く余裕がなくても、本を読めば心の中で旅することができる。本の世界では、何でも見たいものをみて、どこでも行きたいところに行ける。

少しずつですが、朝晩に秋の気配を感じるようになってきました。秋は、「芸術の秋」「スポーツの秋」、そして「読書の秋」。また、「秋の夜はつるべ落とし」とも言われるように、今日、23 日の「秋分の日」を境に、夜の長さが伸びはじめ、日の入りのはやさを感じるようになります。今年の秋の夜も、虫の声を聴きながら、読書に取り組んでみたいものですね。＜須藤＞



10月の　こと と 人

10月4日　宇宙開発記念日

1957 年のこの日、ソ連が人類初の人工衛星「スプートニク 1 号」の打ち上げに成功した。これによりアメリカとソ連（現ロシア）の宇宙開発競争が始まった。この打ち上げの成功に由来して 10 月 4 日～10 日は「世界宇宙週間」となっている。

10月10日　目の愛護デー

1931 年に、現在の中央眼衛生協会が「視力保存デー」として制定。戦後、現在の厚生労働省が「目の愛護デー」と改称した。日付は「10」「10」を横に倒した形が目と眉に見えることからこの日となった。

正岡（まさおか）　子規（しき）

（1867.10.14～1902.9.19）

愛媛県生まれ。俳人、歌人、国語学研究家。子規は筆名です。俳句、短歌、新体詩、小説、評論、随筆など多方面にわたり創作活動を行い、日本の近代文学に多大な影響を及ぼした明治を代表する文学者の一人です。

俳句『柿くへば鐘がなるなり法隆寺』は、有名です。

香山（こうやま）　美子（よしこ）

（1928.10.10～　　）

東京都生まれ。児童文学作家・絵本作家、詩人。１９６３年小説『あり子の記』で、第１回ＮＨＫ児童文学奨励賞、第３回日本児童文学者協会賞受賞をしました。一方で、１９５８年頃から、ラジオ・テレビの『おねえさんといっしょ』『おかあさんといっしょ』など、幼児番組台本を手がけ、また童謡を作詞。1975 年には「げんこつやまのたぬきさん」により、ゴールデン・ディスク賞受賞しました。絵本『どうぞのいす』でも有名です。

宮島（みやじま）　未奈（みな）

（1983.10.16～　　）

静岡県生まれ。小説家、随筆家。小学３年生の時に読書感想文のコンクールに応募した作文が冊子に掲載され、選考委員のコメントで「未奈さんのお話には人をひきつける魅力があります。」「お話を書いてみてはどうですか。」と褒められたことで小説家を目指し物語を書き始めました。2024 年に『成瀬は天下を取りにいく』で第 39 回坪田譲治文学賞と本屋大賞を受賞しました。

伊与原（いよはら）　新（しん）

（1972.10.26～　　）

大阪府生まれ。小説家、推理小説作家。東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程修了し、専門は地球惑星物理学。大学院では地球磁場の研究を行いました。2025 年、『藍を継ぐ海』で第 172 回直木三十五賞を受賞、第 12 回高校生直木賞候補となり、同年、『宙わたる教室』で第 5 回読者による文学賞スピンオフを受賞しました。

図書館員のひみつの本棚　第 245 回

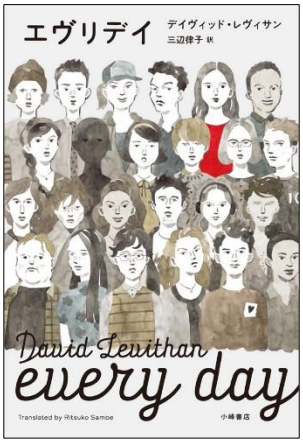
今月は恋愛小説をご紹介します。

『エブリディ』
デイヴィッド・レヴィサン／作　三辺 律子／訳　小峰書店　2018 年　¥1800（税別）　93

＜お勧め年齢＞
乳幼児☆☆☆　小低学年☆☆☆　小中学年☆☆☆　小高学年☆☆☆　中学生★★☆
高校★★★　一般☆☆☆
（★が多い年齢の子どもにお勧めです。）

＜本の紹介＞
　A は毎日違う人の体で目覚める。その日の宿主の記憶にアクセスし、宿主に影響がないように1日を過ごす。次の日の目覚めはそこからそう遠くない誰か。男か女かは起きてみるまでわからない。16年間そんな風に人生を過ごし、成長してきた。
　けれどある日、A は宿主のガールフレンドに恋をしてしまう。彼女の名前はリアノン。A はなんとかリアノンに想いを伝え、彼女の心を手に入れようとするが、それは、宿主達の日常を変えてしまう。そしてついに、A に日常を変えられてしまった宿主が A を探し始める。

＜子どもに手渡す時のポイント＞
　よくあるラブストーリーとはかけ離れた設定ですが、リアノンを想う　A　の切なさや、リアノンの想い、A　の宿主となるティーンエイジャーたちの悩みや日常に、10　代の読者は心を寄せるのではないでしょうか。続編の「サムディ」も併せて紹介してみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。